

**学校教育目標**

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

**目指す学校像**

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校  
(矢立笑学校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

**目指す子ども像**

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

**目指すふるさとキャリア教育**

- 矢立の人・もの・こととの関わりを広げて
- ◇郷土愛 ◇主体性 ◇自立心 ◇発信力

**目指す授業**

- ◇子どもが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果を自覚できる授業(自己肯定感と自信の向上)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のコーディネート)


**重点事項**

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)や活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携

いつでもどこでも一人でも！

「なぜだろう？」不思議発見  
ハテナ解決

自分のためにもみんなのために！



【矢立っ子の合言葉】



【9月 学習発表会 全校合唱】



【10月 きりたんぽまつり 粕田酒こし舞】



【10月 ふれあい集会】



【12月 山内俊隆さん ありがとうの会】



【1月 全校スキー教室 大鱈温泉スキー場】

**ア**  
**児童の状況**

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

**I 自主的・自律的な生活**

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごすとする意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	個人差があることは理解しているが、明るい挨拶に物足りなさを感じる。元気がよく、明るく、はっきりとした挨拶になるよう目指す学校像(失礼な学校)への取組を継続してほしい。規則正しい生活と安全について、学校も保護者も「やりなさい、ダメ」だけでなく、なぜ規則やルールを守らないといけないのか、子どもたちに理解させる取組に努めてほしい。役割・責任については、保護者の満足度が低い。年齢(学年)でできるレベルが違うため、学年でアンケートの設問内容を変える等し、広く子どもたちの頑張りを認められるとよい。
	年度	おおむね良好	メディアコントロールを含めた規則正しい生活の取組は保護者にもっと伝えているし、児童にも浸透している。集会では挨拶がよくできていると感じたが、普段の生活では個人差がある。全校の児童があいさつ名人を目指して頑張してほしい。6年生を送る会では、6年生が学校のリーダーとして成長し、下級生が今度は自分たちがバトンを受け取るという強い気持ちが行動に出ていた。

**学校自己評価改善の概要と**

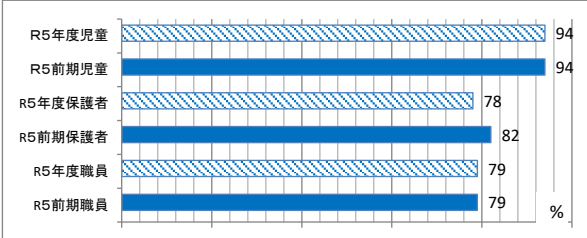
【前期(一年度)】  
挨拶は全体的によくできているが、個人差もある。児童主体のあいさつ運動などの取組を継続しながら、元気に進んで挨拶することを意識させていきたい。規則正しい生活については、メディアとの関わりが大きく影響していると感じている。保護者との連携を図りながら、チェックカードの活用や児童会からの呼びかけにより、規則正しい生活ができるようにしたい。また、休日や長期休みの過ごし方については特に声かけをしていきたい。安全面では全体的に評価が高いが、命に関わることもあるので、正しい行動がとれるように継続して指導していく。

【年度(一次年度)】  
挨拶はできている児童が多いが、個人差もある。2学期後半に行った「あいさつ標語コンテスト」をきっかけに、挨拶の大切さを実感するとともに、元気のよい挨拶や相手を意識した挨拶を心がけさせていきたい。規則正しい生活については、数値が上がっているがメディアとの関わりによる影響が大きいと感じている。引き続き、保護者との連携を図りながら、チェックカードを活用して規則正しい生活ができるようにしたい。特に、休日や長期休みについては、大きく生活リズムが崩れることがないように声かけをしていきたい。安全面の評価は高いが、命に関わることもあるので、継続して指導したり確認する機会を設定したりしていく。

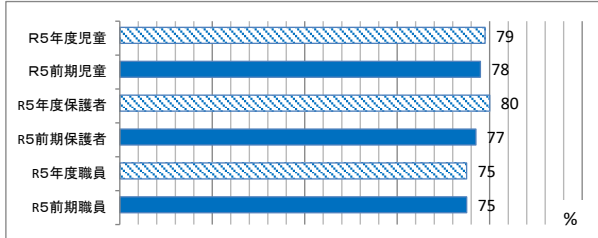
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	3
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まる時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	3	3
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	4

**【1に関するデータ】**

**(1) 明るい挨拶**



**(2) 規則正しい生活**



(1) 保護者アンケート記述より  
・声が小さい



【朝の登校風景】



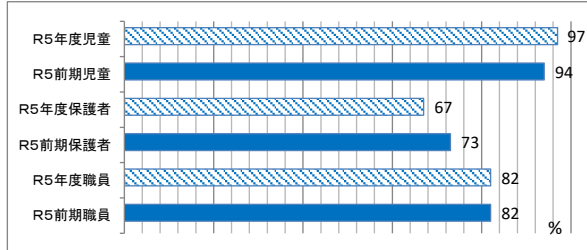
【あいさつ運動の取組を紹介～市こどもサミット】

・明るい挨拶について、子どもたちはできていると評価しているが、保護者アンケートでは「もう少しできる」という評価が続いている。2学期後半に「あいさつ標語コンテスト」を実施し、挨拶の必要性や大切さを実感できるようにした。現在、アナウンス委員会が朝の放送の中で、全員の標語を1日1つずつ紹介している。これを機会に、家庭や地域でも元気で明るい挨拶ができるように働きかけていく。

・規則正しい生活は、子ども、保護者とも数値が少し上がった。秋田県では「秋田わか彩七つのはぐみ」の中で、「早寝・早起き、朝ごはんが生活リズムのすべての基本」として取り組んでいる。生活リズムが整うことで、自主的・自律的な生活を行うことができる。先日の学校保健委員会で、メディア使用について話題になった。自己管理能力を小学校段階から身に付けられるよう、学校と保護者が連携してメディアコントロールの取組を強化していきたい。

**【2に関するデータ】**

**(3) 自分の役割に責任をもつ態度**



(3) 保護者アンケート記述より  
・手伝いを頼むと、ゲームの時間を要求する。  
・気分により、やる時とやらない時がある。

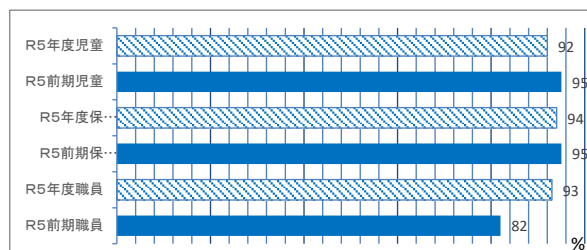


【赤い羽根募金 アナウンス委員会】

・保護者の数値は下がったが、児童の数値は上がった。児童は当番や係、委員会活動などが充実していると捉えている。2学期終業式に、冬休みに家庭でのお手伝いを頑張してほしいと話した。合言葉「いつでもどこでも一人でも」と関連付けて、自分から進んでできるように働きかけていきたい。

**【3に関するデータ】**

**(4) 安全教育の充実**



【火災を想定した避難訓練での煙体験】

・安全面では、全体的によい傾向である。特に、職員の数値が大きく上昇した。11月に火災を想定した避難訓練(3回は放送をしっかりと聞く、1回は実際に避難する)を行った。煙体験や消防署の方の講話を通して、安全に対する意識が高まった。

# ア 児童の状況

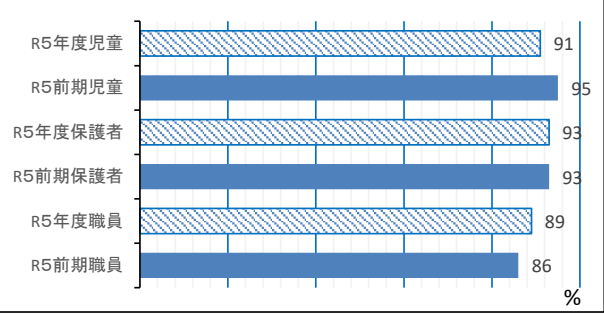
## II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント	
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	新型コロナウイルス感染症が5類に移行、行事や学校生活の制限が少なくなってきたことから児童のポイントがアップしたのだと思う。高い達成感、先生方の環境づくりの賜物、感謝している。自己有用感についても同じく高いポイントで、褒められたり、認められたりする機会を上手につけている成果だと思う。よい面を見つけて伸ばすことを続けてほしい。諸問題をゼロにすることは難しいが、未然防止に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	「ふわっと言葉」を学んだことが、矢立「笑」学校に生かされており、他を思いやる姿が見える。「4共感し合う心」の自己評価は4でもいいのではないかと。いじめ、トラブルの未然防止の取組の成果が、児童の様子からうかがわれる。
校自の己改評善価策の概要と学	<p>【前期(→年度)】 自己有用感、自分で気付くだけでなく、他人から感謝されたり認められたりすることで育まれることも多い。これからも、帰りの会や振り返りの時間などを通して、互いのよさを認め合える場を増やしていく。このことが、達成感を味わえる活動にもつながっていくと考える。また、学校行事や様々な活動を通して達成感を感じることができているので、今後もそのような機会を生かしながら一人一人のよさを発揮できる場を設定していきたい。いじめについては、未然防止と起こってしまったときの対応を大切に、いじめゼロを目指すとともに隠したりうやむやにしたりすることがないようにする。</p> <p>【年度(→次年度)】 自己有用感については、全体的に高い評価となっているので、帰りの会や委員会からの呼びかけなどを通して互いのよさを認め合える場を設定していく。また、一人一人のよさを発揮できる場も継続して設定していきたい。いじめについては、児童が出前授業をきっかけに「ふわっと言葉」を意識していることを尊重していきたい。そして、未然防止と起こってしまったときの対応を引き続き大切に、いじめゼロを目指すとともに隠したりうやむやにしたりすることがないようにしていきたい。</p>			

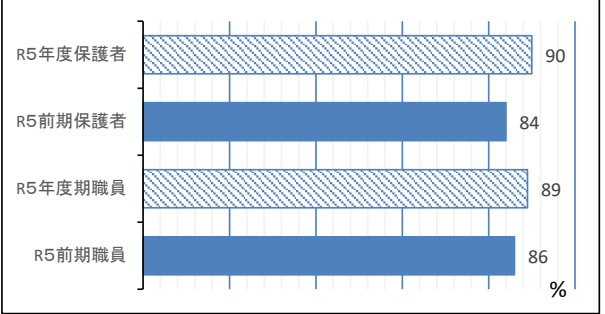
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いを認め合う学級づくり</li> <li>縦割り活動の充実</li> <li>早期発見の体制づくり</li> <li>家庭との連携</li> </ul>	3	3
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事</li> <li>自分のよさに気付く場の設定</li> </ul>	4	4

### 【4に関するデータ】

#### (5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり



#### (6) いじめ、諸問題発生防止

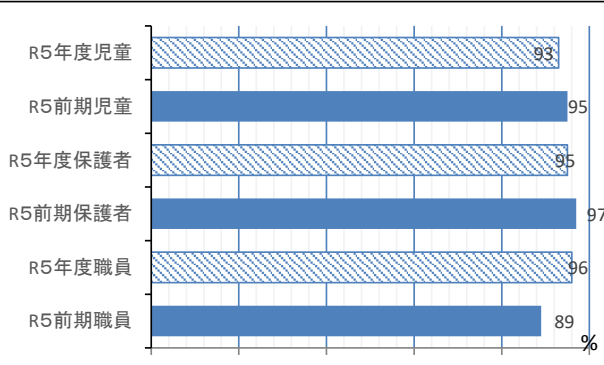


(6) 保護者アンケートの記述より  
 ・研修会(比内支援学校の出前授業)により、以前よりもっとまわりの子に優しくなった気がします。

・児童アンケート「友だちのよさやがんばりを見つけることができた」は91Pと下がったが、前期に引き続き「自分にはよいところがある」と答えた児童が90P近くあり、学校生活や家庭で子どもたちのよさが認められる機会を意図的につけていることがうかがえる。  
 ・いじめ、諸問題の発生については、保護者の数値が大きく上昇した。10月に比内支援学校の出前授業を活用して、障がい理解教育を行った。疑似体験をしながら、困っている人にどのように対応すればいいか考える授業をした。その中ででてきた「ふわっと言葉」を意識して行動する児童が増えた。引き続き、トラブル、いじめがないよう未然防止に努めていきたい。

### 【5に関するデータ】

#### (7) 達成感を味わえる活動



(7) 保護者アンケートの記述より  
 ・学習発表会で一人一人がたくさん活躍していて感動しました。



【左:学習発表会 右:マラソン記録会】

・児童、保護者、教職員とも90P以上の数値となっている。児童は様々な活動に一生懸命に取り組んでおり、その頑張りが達成感につながっていると思われる。今後も、一人一人が達成感や充実感をもてるような教育活動を継続していきたい。

## ア 児童の状況

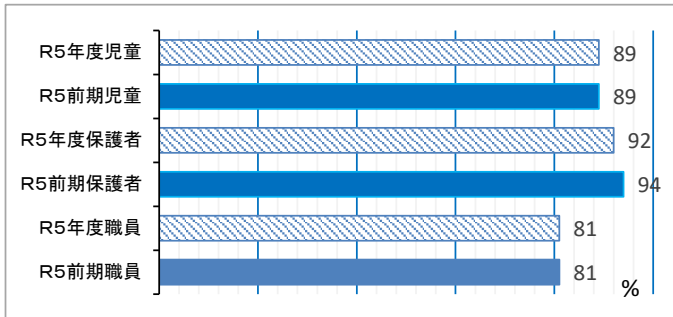
### Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント	
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	今年度の重点事項に則り、基礎・基本の定着に重きを置く繰り返しの指導が浸透している。学力調査などでも結果が出ているとのことなので、継続してほしい。家庭学習(宿題)においては、慣れからくる注意力の低下が見受けられるという意見があるので、繰り返しに加えて内容に変化を加える等検討していただきたい。先生方の自己評価が低いのは、意識の高さで取り組み途中であるからと理解している。
	年度	おおむね良好	良好	これまでの学校運営協議会での授業参観や外部からの視察の評価から、学ぶ姿勢がよくできていると感じる。保護者のヒアリングから、家庭学習の内容や量について満足していることがわかった。職員の自己評価が低いのは、児童にさらに上を目指してほしいという思いがあるからだと思う。これからも研究の重点の達成のため、さらに研鑽を積んでいってほしい。
と自己評価の改善の善策要	<p>【前期(→年度)】 概ね学習習慣は身に付いていると言える。個々に見ると忘れ物などが多い児童もいるが、個別に声をかけている。今年度は、基礎・基本の定着と、根拠をもとに説明する力の育成を重点に掲げている。自分の考えをしっかりとって問題解決に向かい、学び合いが充実するようにしたい。そのためには、学校の学習だけでなく家庭学習の充実も不可欠である。学校での学びが着実に身に付くように授業改善を図り、家庭学習の内容を見取りながら支援していく。</p> <p>【年度(→次年度)】 アンケート結果では前期と同様に80%後半から90%後半が多く高い水準にあることが分かる。授業中の様子から、主体的に取り組もうとする児童が増え、説明する力が着実に身に付いてきているように感じる。個々に見れば、基礎的・基本的な内容の定着がまだ十分ではない児童や、支援が必要な児童もいるが、少人数の特長を生かした手厚い指導を心がけ、学力向上に結び付けたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8)基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」・ノート指導・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動・表現する場の設定・ドリル等を活用した反復練習	3	3
6 学力向上	(9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着・児童主体の授業改善 ・教師の確かな見届けと指導、支援・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善・学び合いのスタイルの工夫	3	3

#### 【5に関するデータ】

##### (8)基本的学習習慣の確立



##### (8)保護者アンケートの記述より

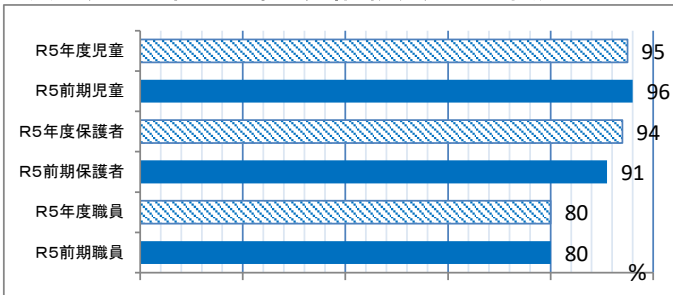
・家庭学習、いつも同じようなところばかりやっけてしまいます。

・アンケートでは、ほとんどの児童が家庭学習を毎日きちんと行っていると答えており、家庭での見届けをしていただいていることに感謝したい。家庭学習の内容については、家庭学習ノート展などを定期的に行い、個々の子どもに合った家庭学習を指導している。

・児童や保護者の数値に対して、(9)と同じように職員の数値が低くなっているのは、まだまだ改善の余地があると考えていることの表れである。

#### 【6に関するデータ】

##### (9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



・児童・保護者とも数値が高く、全体的により傾向にある。特に、保護者の数値が高く、学習指導についてよい評価を受けている。2学期も外部から授業の様子を見ていただく機会が何度かあったが、「先生方が一人一人を大事にして授業を進めている」などたくさん褒められた。12月に行われた県学習状況調査では県平均を下回っている教科もあるので、引き続き基礎的・基本的な内容が確実に身に付くよう授業改善に努めていきたい。

#### <授業の様子から>



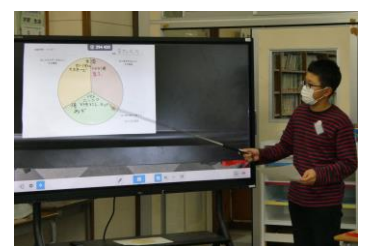
【1・2年 生活科 町探検】



【3・4年 外国語活動】



【5年 算数 花岡小とのリモート授業】



【6年 家庭科】

## ア 児童の状況

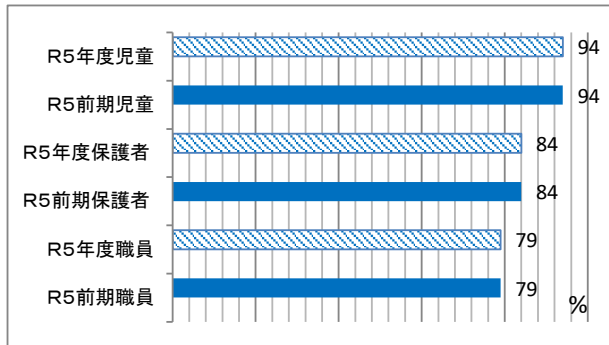
### IV 健康と体力

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	今夏の異常な暑さから、屋外・プール・体育館での運動を制限されることもあった中、教室等(エアコン有)でやれることをするなど工夫した取組がよかったし、嬉しく思う。メディアの長時間使用は最も気を付けるべきこと。規則正しい生活と同様に保護者と協力し、なぜ規則やルールを守らないといけないのか、子どもたちに理解させる取組に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	虫歯の状況が市内でベスト3になったのは、これまでの取組の成果が確実に表れているからだと思う。マラソン、なわとび、スキー教室など工夫した体力つくりの取組が行われている。6年生の姿を見て、低学年全員が一輪車に乗れるようになったのは素晴らしい。
自己評価の改善概要と	【前期(一年度)】	健康的な生活習慣の形成が、児童の健全育成の土台となると考えて取り組んでいる。(10)のデータは上昇傾向にあるが、休日の過ごし方に課題がある。メディア依存による悪影響が低年齢化してきており、児童・保護者どちらにも継続的な指導が必要である。週1回のマラソントイムでは、目標をもって頑張る姿が見られた。運動が苦手な児童も、楽しく運動できるような工夫をしていきたい。	
	【年度(一次年度)】	歯磨きに関して昨年度と比較し、健康歯者が増加し、未処置歯者が減少した。しかし、むし歯数は個人差が大きく、むし歯がある児童は複数むし歯がある状況であるため、個別指導も取り入れながら継続して指導が必要である。体力づくりでは、マラソン記録会やなわとび記録会など、個人や学級の記録更新に向けて一生懸命に取り組む姿が見られた。冬の運動不足解消のため、スキー授業などを活用して今後も健康増進に努めていく。	

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの取組 ・給食、歯磨き指導	3	3
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	3	3

### 【8に関するデータ】

#### (10)健康的な生活習慣の形成、歯磨き指導



(10)保護者アンケートの記述より  
・みがき残しが多いようです。

アンケート結果は前期と同じ数値となった。学校保健委員会では、給食後には全校児童で歯磨きを行っているが、休日の歯磨きがあまり習慣化されていない子どもが何人かいることがわかった。お家の人に言われなくても、歯磨きなどの健康管理を自分でできるように働きかけていきたい。  
・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症は拡大しなかったが、油断せずに基本的な感染対策について声かけは継続していく。



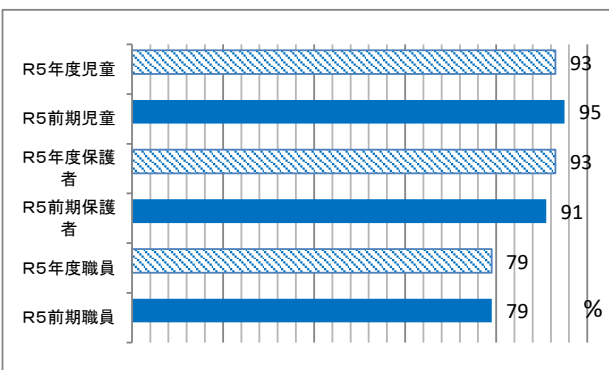
【歯の健康 歯っぴーコイン集計】  
(ヘルシースポーツ委員会)



【給食センターのみなさんへ感謝状】  
(ヘルシースポーツ委員会)

### 【9に関するデータ】

#### (11)体力づくり活動の充実



【中休み なわとび記録会に向けて】



【スキー授業 矢立スキー場】

・児童・保護者とも高い数値になっている。中休みには、マラソンや大縄跳びを行うことで運動する機会を多くするようにしてきた。毎週火曜日は、なわとび記録会に向けて、学級で競いながら練習している。暖冬で雪不足であったが、学校の山でスキーを行うことができ、冬場の運動不足解消につながった。

## イ 学校運営の状況

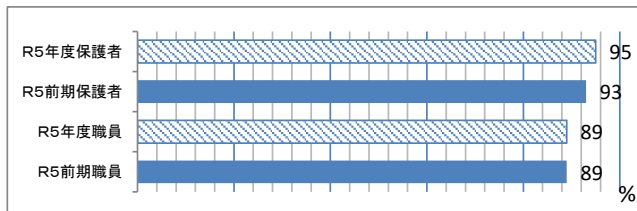
### V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	経営方針や重点施策は先生方に浸透し、積極的に取り組まれている。保護者や地域の方々にもPTA全体会や学校報を活用して発信され、連携が図られている。他校との交流も復活し、更に活発になり、子どもたちも喜んで保護者から声があった。粕田酒こし舞の継続が嬉しい。今年はきりたんぼまつりでも披露するとのことなので子どもたちの活躍を期待している。
	年度	良好	きわめて良好	学校経営方針が保護者や地域に周知され、理解されている。きりたんぼまつりでの発表という新しい挑戦は、伝統芸能の継承という意味で地域に大きく貢献している。地域連携やPTAの協力が素晴らしい。「幼保小の架け橋プログラム」の推進により、育てたい子どもの姿を共有しながら実践につなげ、より深いつながりができている。
学自己の評価改善の概要と	【前期(→年度)】	今年度も保護者や地域の方々との協力で、農園活動を始め、田植えやプール清掃など、たくさんの活動が実施できている。また、恵まれた立地条件を生かし、公民館や保育所と連携した様々な活動も行うことができた。矢立地区の子どもの目指す姿を共有し、さらに矢立の人・もの・こととの関わりを広げていけるよう、今後も地域と連携・協働していきたい。また、地域にお世話になるばかりではなく、児童の元気と笑顔、活力を地域に届ける「矢立笑学校」を目指して取り組んでいきたい。		
	【後期(→次年度)】	後期は、保護者やお助け隊の方々はもちろんだが、行事や交流・探検活動を通して、公民館、保育所、北陽中学校区の各校、そして地域の施設との関わりを深めることができた。普段は少人数で過ごしているため、たくさんの人との関わりを通じて、主体的に他者と関わる力が育ってきていると感じている。継続的に行っている取組は、ねらいを確認し、児童の主体性を育てられる取組にしていけるよう、次年度は考えていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	4
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	4
12 PTA、地域、他校との連携	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項・他校との交流学習	4	4

#### 【10に関するデータ】

##### (12) 経営方針や重点施策の明示



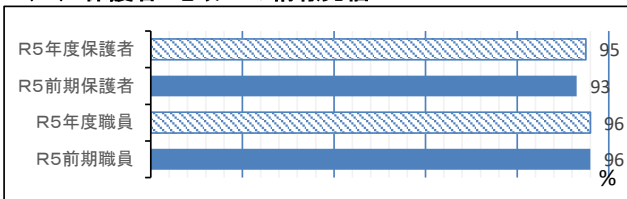
・保護者の数値が少し上がった。児童には行事等のあいさつで、保護者にはPTA等で、目指す子ども像、合言葉について分かりやすく伝えている。学校運営協議会、PTA等での意見を参考にしながら、今後も「開かれた学校」を目指していきたい。



【3学期始業式 校長から】

#### 【11に関するデータ】

##### (13) 保護者・地域への情報発信



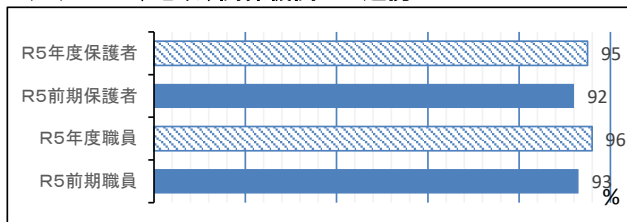
##### (13) 保護者アンケート記述より

・せっかくよい学校報を作成しているので、PDFにして一斉メールでも配信してはどうでしょうか。

・保護者・教職員とも高い数値である。引き続き、学校報や学級通信では、子どもの様子だけでなく、学校・学級運営についてもできるだけ分かりやすく情報発信していきたい。また、新聞などの報道機関も積極的に活用していく。  
・一斉メールはあくまで「緊急時」のみに使用することで理解を得ていく。

#### 【12に関するデータ】

##### (14) PTA、地域、関係機関との連携



【地域の方々の協力を得て 左:さつまいも掘り 右:山内さんありがとうの会】

・保護者、教職員とも数値が前期よりも上がった。矢立小学校は、保護者、地域の皆様のご協力・ご支援のおかげで、児童が楽しく活動できている。後期は、畑・花壇作業の他、酒こし舞の指導、ふれあい集会、スキー教室などの活動でご協力いただいた。児童アンケート「地域のために頑張ったと思えることがある。」では、「あてはまる」と回答した児童が92Pであった。「地域のために何が出来るか」という意識の高まりが感じられる。今後も、学校とPTA・地域・関係機関がウイン・ウインの関係になるように教育活動を充実させていきたい。

## 令和5年度 学校評価(年度) 学校運営協議会委員 全体コメント

- ◇地域連携のレベルが上がった。きりたんぽまつりへの挑戦は、子どもたちにとってもよかった。酒こし舞は、地域の誇りでもある。
- ◇6年生を送る会は、子どもたちの成長を感じた。
- ◇保護者のアンケートに「あいさつの声が小さい」とあったが、きっと普段は小さい声なのだと思う。児童のヒアリングで、あいさつが上手な人は誰かきいてみたところ、それぞれ名前を挙げていた。その上手な人をめざしてほしいと思う。
  
- ◇矢立小では、子どもが大事にされているといつも感じる。
- ◇6年生を送る会は6年生が主役だったが、みんな何役もやって関わっていた。アットホームな会だった。
- ◇自信をもって中学校に上がってくる子どもたちだが、人数が増えて試されることも多いと思う。小中の接続をしっかりと行いたい。
  
- ◇孫の普段の様子を見ていると、保護者の評価とは違う面がある。メディア(ゲーム)については、親が言っても聞かないことがある。生活のリズムを守らせるのもギリギリなようだ。
- ◇今年度は全校登山ができなかったが、事前にしっかり下見をしに行っていたので残念だった。全校スキー教室はやれてよかった。
  
- ◇少数精鋭で、はきはきしていて元気のよい子どもたちである。
- ◇スキー教室に参加したが、楽しめた。いい子たちばかりであった。
- ◇全校登山に行きたかった。「中止」ではなく「延期」を考えるのはできるのか。
- ◇人数が少なくなっても、頑張してほしい。
  
- ◇6年生はもちろん、他の学年の眼差しや手拍子に感動した。心のこもった6年生を送る会だった。
- ◇これから揉まれることも多いと思うが、素直な子どもたちなので、たくましく育てほしい。
- ◇幼小連携がたくさんできて、小学校の先生方が身近になった。子どもたちの交流もたくさんできた。年長の3人は、小学校への入学をとても楽しみにしている。

## 令和5年度 学校評価一覧表

学校教育目標 『ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成』

大館市立矢立小学校

市教育 施策	評価項目	評価指標	実践課題	主な取組	アンケート対象			自己評価 B
					児童	保護者	職員	
○・大館ふるさと市民のキャリア教育（人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成）	I 自主的・自律的な生活 (よりよく生活し安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。)	1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶 (2) 規則正しい生活	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動 ・家庭との連携（早寝、早起き、朝ご飯） ・始まりの時間を意識した学校生活	○	○	○	3
		2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	○	○	○	3
		3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	○	○	○	4
	II 思いやりの心・たくましい心 (互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。)	4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり  (6) いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切に授業	○	○	○	3
				・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	○	○	○	
	III 基礎学力 (児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら、学習内容を定着させている。)	5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	○	○	○	4
		6 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動 ・表現する場の設定 ・ドリル等を活用した反復練習	○	○	○	3
	IV 健康と体力 (児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。)	7 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着 ・教師の確かな見届けと指導、支援 ・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善 ・学び合いのスタイルの工夫	○	○	○	3
				8 保健指導	(10) 健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの活用 ・給食、歯磨き指導	○	
	V 組織運営及び保護者・地域との連携 (学校の実状に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。)	9 体力の向上	(11) 体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	○	○	○	3
				10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化		
		11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用 ・諸活動の案内		○	○	
12 P T A、地域、他校との連携（交流）				(14) P T A、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動（地域人材の活用） ・P T A活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学习		○	○